

# 新体制の中核を担う

## 中庭敏常務理事



中庭常務理事

本学においては、教養・研究・管理運営の全般について、対応の遅れから社会のニーズとの乖離が顕在化している。さらに、本部大学院の運営、お茶の水地区の開発、医学部の新病院建設など、現在本学が抱えている早急な課題は山積している。しかし、最大の課題は、大胆かつ画期的な改革を果敢に実行することである。各々が自らの責務を果たして、大学を再構築し、みんがが共有できる明確なビジョンを策定することが望まれる。学内外の機会を捉え、バランスを考慮し、変化を恐れず、着実に解決していきたい。そのためには、正しい状況判断と的確な意思決定はもろろんのこと、それが本学のために有用なという信念と、それを貫徹する覚悟がなければ物事は成し遂げられないと思う。今後、厳しい判断を迫られる場面もあるかと思われ、あきらめず、全教職員の理解と協力を切にお願いしたい。

## 大胆かつ画期的な改革を



牧野常務理事

ある有力予備校の専門家がいわく、いまの日本は競争相手にとって大は競争相手にとって怖くない。船頭不在の漂流船のごとくだから、それを実現するための「長期戦略」を打ち立てる。もし全学が統一意思で動き出したら、最大の脅威になる。この「日大評」は正積極果敢な行動提起で、広範な本学関係者の意思統一も可能となる。総長直轄の「戦略室」(仮称)が直接これを担当する。「ロケットスター」もこれで可能となる。いま大学をめぐる「獅子」が飛び起き、世界に雄飛できる「ラストチャンス」と私は考える。以上のような認識に立ち、「企画」の仕事に臨む所存だ。いまひとつ、「広報」をどう改革するか。総長の公約どおり、「内向きの」校・日本大の「歴史的改革」に捧げることができ光栄の極みである。

## 〈大改革〉の息吹を国内外に

## 牧野富夫常務理事

情勢のメガトレンドは、①大衆化、②市場化、③グローバル化の3点にほかならぬ。この新たな激しい情勢に日大人がバラバラでなく、一丸となって対応しないかぎり日大といえども危ない。破綻すること数年が「眠れぬ夜」を母国に広報を「外向き」に変えたい。「外」とは単に「学外」を意味しない。グローバル化の「海外」も重視する。「大改革」の息吹を国内外に広く発信する、ということだ。

## 新生物資源科学部長に徳山龍明教授 新理工学部長に滝戸俊夫教授

### 芸術学部は野田学部長が再任



徳山学部長



滝戸学部長



野田学部長

大学は7月29日の理事会で、新生物資源科学部長に徳山龍明教授、9月5日の理事会で新理工学部長に滝戸俊夫教授、芸術学部長に野田慶人教授の再任を、それぞれ承認した。任期は徳山学部長が8月24日から、滝戸学部長は10月1日から、野田学部長は9月25日から、それぞれ3年間。

生物資源科学部長は酒井健夫学部長の総長就任に伴い、学部長選挙規程に基づき、7月9日に学部長候補者選挙を行った。同選挙では、有効投票の3分の2以上を得た徳山龍明教授が学部長候補者として確定し、同日の学部長選挙規程に基づき、7月9日学部長選挙は、規程による当選者が得られなかったため、再選挙となり、比較多数を得た滝戸俊夫教授を当選者と決定、同日の教授会は満場一致で承認した。

滝戸 俊夫(たきど としお) 昭和45年理工学部卒業。50年大学院理工学研究科博士課程修了。平成11年理工学部教授となる。学部長などを経て、工学博士。埼玉県生まれ。61歳。

野田 慶人(のだ けいじん) 昭和24年理工学部卒業。50年大学院理工学研究科博士課程修了。平成11年理工学部教授となる。学部長などを歴任。工学博士。埼玉県生まれ。61歳。

## 2008日大フェア開催 進学相談に408人が来場



進学相談の様子

本学教育・研究の取り組みや魅力を広く知ってもらうと全国各地で開催されている「2008日大フェア」が9月19、20の両日、茨城県水戸市の三の丸ホテルで開催された。

進学相談は、学部長選挙規程に基づき、7月1日学部長候補者選挙を行った。同日の教授会は満場一致で承認された。

その結果、有効投票の3分の2以上を得た野田慶人が学部長候補者として確定し、同日の教授会が学部長候補者として承認された。

## 産学連携相談会も

台風13号の影響が心配されたが、「進学相談会」には2日間受験生、保護者ら408人が来場。進学ガイドや学部パンフレットを手に過去の入試問題を閲覧したり、インターネットでシラバスを検索するなどしていた。志望する学部のブースでは進学アドバイザーの学部の概要、入学試験等の説明に真剣な表情で聞き入っていた。

「就職情報交換会」には茨城県に本社を置く企業を中心に85社115人の人事担当者参加。本学の就職支援の取り組みや学生の動向等について学部長と意見交換した。

「産学連携相談会」も

## 付属校サミットを 塩原研修所で開く

2008NU祭日本大生学全付属高校文化祭サミットが8月1日から3日間、塩原研修所で開催された。

初日は開会式のあと、野田慶人副総長・芸術学部長が「アイデアの発想について」のテーマで基

## 山本山関に 化粧まわし

大相撲秋場所に十面昇進した経済学部校友の山本山関(本名・山本龍一、尾上部屋、24歳)に9月9日、日本大学会館で恒例の本校卒業生入館化粧まわし、明け荷などが贈られた。写真、酒井健夫総長は「三役を狙える。

## 総長月誌

7月3日 特別・準付属高等学校理事長・校長会  
4日 校友会役員総会・日本大学役員懇親会  
5日 朝日新聞大学トップマネジメントフォーラム  
8日 私大連常務理事会・保健体育審議会  
9日 副総長・監督・コーチ懇親会  
11日 商学部校友会懇親会  
15日 大学基準協会理事会  
17日 文部科学省大学設置・学校法人審議会寄附行為変更認可書面審査会  
23日 新規採用大学教員研修会挨拶  
25日 全国校師会総会・校友会神奈川県支部総会・懇親会  
29日 私大連常務理事会・理事会  
30日 文部科学省大学設置・学校法人審議会寄附行為変更認可書面審査会  
30日 平成20年度日本大学グローバル・ビジネス研究科修了式

情報交換 意見交換した。最終日はグループごとに討議で得た成果を発表し、最後に「付属校の連携をはかり、皆が参加したいと思う文化祭をめざしましょう」との共同宣言を採択して閉幕した。

山本山関(山本龍一)は「卒業生に恥じない士徳を勤めたい」と、得意の四つ相撲での活躍を語っていた。本学出身の関取(十両以上)は35人目で、現在7力士が活躍している。

本学、相撲部発展のためにも精進していただきたいと激励した。

身長188、252kgは国内出身力士最巨漢で「卒業生に恥じない士徳を勤めたい」と、得意の四つ相撲での活躍を語っていた。本学出身の関取(十両以上)は35人目で、現在7力士が活躍している。